

## 就学前児童保護者

1：お子さんの通学する小学校区（通学予定を含む）はどこですか？

### 【就学前児童】

地区名	回答児童数	回答分布
大口地区	241	73.5%
菱刈地区	87	26.5%
計	328	100%
	625	52.5%

2：学校の在り方について検討が必要だと思いますか？

※各世帯1回答としていることから回答児童数と回答数は一致しない。また、小学生に児童のいる世帯は「小学校」で計上している。

全体	回答数	割合
すぐに必要	27	26.2%
将来的には必要	60	58.3%
必要はない	7	6.8%
分からぬ	9	8.7%
計	103	100%

回答率1位 →①

回答率2位 →②

回答率3位 →③

3：前問の回答理由を下の表の中から、近いと思われるものを選んでください。（複数回答可）

		すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からぬ	計	割合
① 多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多い。	児童数が多いことに肯定的な意見	15	22	3	3	43	10.0% ①
② 切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性等を育みやすい。		17	18	3	2	40	9.3%
③ 集団教育活動（運動会、発表会等）に活気が生まれやすい。		15	22	4	2	43	10.0% ①
④ グループや習熟度別学習、専科授業など多様な形態を取りやすい。		11	9	2	1	23	5.3%
⑤ 児童が多いことで、子ども一人一人の把握が難しくなりやすい。	児童数が多いことに否定的な意見	4	16	4	2	26	6.0%
⑥ 学校行事等において、一人一人に個別の活動機会を設定しにくい。		4	11	2	1	18	4.2%
⑦ 学習等で一人一人にきめ細かな指導が難しくなりやすい。		5	12	2	2	21	4.9%
⑧ 保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。		2	3	0	0	5	1.2%
⑨ 子ども一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	児童数が少ないと肯定的な意見	11	22	2	0	35	8.1%
⑩ 学校行事等において、一人一人に個別の活動機会を設定しやすい。		4	6	0	0	10	2.3%
⑪ 児童相互の人間関係が深まりやすい。	肯定的な意見	8	13	2	0	23	5.3%
⑫ 異学年間の縦の交流が生まれやすい。	見	6	16	2	2	26	6.0%
⑬ 多様な考えに触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。	児童数が少ないと否定的な意見	11	11	0	0	22	5.1%
⑭ クラス替えがなく、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。		14	16	0	2	32	7.4%
⑮ 集団教育活動（運動会、発表会等）に制約が生じやすい。	否定的な意見	8	10	0	0	18	4.2%
⑯ P T A活動等において、保護者の負担が大きくなりやすい。	見	16	24	0	2	42	9.7% ③
⑰ その他		2	1	0	2	5	1.2%
計		153	232	26	21	432	100%

### 【系統別集計】

理由	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からぬ	計	割合
児童数が多いことに肯定的な意見 ①～④	58	71	12	8	149	34.5% ①
児童数が多いことに否定的な意見 ⑤～⑧	15	42	8	5	70	16.2%
児童数が少ないと肯定的な意見 ⑨～⑫	29	57	6	2	94	21.8% ③
児童数が少ないと否定的な意見 ⑬～⑯	49	61	0	4	114	26.4% ②
その他	2	1	0	2	5	1.2%
計	153	232	26	21	432	100%

### 「17その他」の理由

検討の可否	「17その他」の理由
すぐに必要	少ないクラスになってしまった場合、一度いじめなどが起きた時に、その子の逃げ場がないのではないかと思う。
すぐに必要	友人が少ない
将来的には必要	伊佐市の中では規模が大きい学校でも、他市町村と比べると規模が小さい学校が多い。中学高校大学等、今後の子どもたちの進学を見据えると、人数が多く様々な人がいる集団の中で学ぶことは、人間関係づくりや学力面で鍛えることができるから。
分からぬ	質問の意味がよく分からない 在り方の検討についての具体例をあげてもらわないと何を聞かれてるのか理解できない。

4：1クラスあたりの児童数は何人ぐらいが良いと思いますか。近いと思われるものを1つ選んでください。

	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からぬ	計	割合
10人未満	1	4	0	0	5	4.9% ③
10人以上20人未満	13	25	3	2	43	41.7% ②
20人以上30人未満	13	28	3	7	51	49.5% ①
30人以上		3	1	0	4	3.9%
計	27	60	7	9	103	100%

⑦・今後の児童数の推移をご覧になって感じたことや、今後、学校の在り方を考えていく上で必要なことやご意見等があれば記入してください。

検討の可否	内容
すぐに必要	老朽化している施設・遊具が多いと思うので、学校を統合して新施設・新しい遊具などを揃える必要があるのではないかでしょうか。 近年、気温が上昇しており熱中症などの問題も増えているので、体育館などの各施設にエアコン常備できるとよいのではないかでしょうか。
すぐに必要	現住所の校区の小学校に絶対入学通学または特認校へ通学が絶対ではなくて、家庭の事情で現住所がなくても、同じ市内の小学校に通えるようにしてほしいです。 通わせたい小学校への学校見学など、そこの学校の先生方とも連携がとれるなど、子供第一に子供が通いたい学校へ
すぐに必要	伊佐市では子供の数が減っているというよりも、子供を産む親世代が減っていると思っています。 児童数を増やすには、親世代が住みやすい環境、子育てしやすい環境を作れば、自然と児童数減少も今とは違う結果になると思います。住宅関連の補助金や移住者への給付金など。
すぐに必要	さつま町では統廃合が進んでいる。伊佐市でも、人口減少が進むのは相当前からわかっていたはず。学校を維持するには、生徒だけでなく、教員をはじめ多数の人の支えが必要だ。その支える人の数も減少しており、統廃合は避けて通れない。なぜ、今まで取り組まなかったのかがわからない。丁寧な説明をしながらも、統廃合を進めてほしい。こどもたちのためにも。
すぐに必要	素人の考えですが、生徒数が極端に少ない小学校は近くの小学校へ統合した方が良いのではないかと思います。
すぐに必要	少人数で目が行き届くのはメリットはあるが、あまりにも児童数が少なすぎる。 大事な時期の6年間をもっと友達の多い環境で過ごしてほしい。
すぐに必要	小規模校がとても多いことに改めて驚き、大口小学校のみ児童数が突出している印象を受けました。 多様な教育環境を確保するために、特認校制度を利用するにあたっては、出水市のように、中心部から特認校までの通学手段（スクールバスなど）の整備も併せてご検討いただけたらありがたいです。 また、統廃合を検討する場合は、通学距離やお友達のお家が遠方になることも考えられるため、放課後や長期休み期間中の子どもたちの過ごし方についても併せてご検討いただけたらありがたいです。
すぐに必要	PTAなど保護者の活動を減らして欲しい。 人数が少なくなると中学のときに心配になる。 すぐに合併してほしいが通い方などの問題が出るのかなと思う。
すぐに必要	「17その他」と同じ（少人数学校）
すぐに必要	少ない児童数で複式学級で学ぶよりはその学年で学ぶ内容をその年に学ばせてあげたい
すぐに必要	全校児童数が少ない学校は先生方の目が行き届きやすく授業も丁寧に教えてもらえる等のメリットもあると思うが、少なすぎると子ども同士のコミュニケーション力や中学校に行ったとき1クラスの人数が多いことに戸惑ってしまうのではないかの不安がある。 児童数が少ない学校は近隣学校との合併を1日でも早く進めてほしいです。
すぐに必要	複式学級になるときき、子供の学力が落ちると心配です。 学校で、トイレやご飯を食べれるかも、心配。 社会性など身につけて心も体も元気で過ごしてほしいです。 災害時などの対策などを教えてほしいです。
すぐに必要	妻の地元に昨年移住してきました。田舎ならではののんびりとした感じが自分たちや子どもたちには合ってるなあと感じた反面、これから保育園や学校の体制はどうなっていくのかな…と不安な面も大きいのが正直な所です。 また、学校の在り方と連携して市町村が子育てがしやすい体制を作っていくことも大切かと思いました。
すぐに必要	35人学級はまだ多すぎ、20人学級が教師にも生徒にも丁度良い人数だと考えます。 生徒数の減少だけでなく、校舎の老朽化も懸念しています。学校を集約し、限られた財源を効率的に投入していただきたいと思います。 また、菱刈中学校前のカッパ像ですが思春期にある生徒にとっては見たいものではなく、時代にもそぐわない像だと思います。撤去の検討をお願いしたく存じます。 雇用に加え教育面からも、成人後も伊佐市に住みたい、伊佐で子どもを育てたいと思う人を増やすことは市政の喫緊の課題だと思います。今後もより活発な議論をお願いいたします。
将来的には必要	中学2校に対して小学校が多すぎだと感じました。6年後には半減する地域もあるので早めに中学校区でまとめてスクールバスを増便又は小学校へ徒歩圏内に引っ越しする場合手当を出すなどして対策をしなければ現状維持により税金がかかりそうです。
将来的には必要	人数が多い学校に進学する可能が現時点で高い。子供同士の関係もあるが親同士の関係やPTA等に要らない気を使うのも嫌。不安しかない。
将来的には必要	人口減少が進むなかで学校の維持にかかるコストを考慮すれば、いつかは市の規模や財政状況に見合う形で統廃合をしていく必要があると思う。ただ学校がなくなることによる地域への影響をさまざまな視点から整理し、市としてどういった方針でまちづくりを進めていくのか、市役所お得意の縦割り的な進め方ではなく、全庁横断で長期的な検討が必要だと思います。
将来的には必要	児童数減少の原因に子育て支援が充分ではないことも含まれると思います。 学校の在り方を考える前に生まれてから成人するまでの子育て支援を強化していただきたいです。 4人ほど子どもが欲しいと思っていたのですが、正直、金銭面で1人でいっぱいいっぱいでいます。 都城市の子育て支援などを参考にされてはいかがでしょうか？ 良い改善をよろしくお願いします。
将来的には必要	少人数は自分の周りのコミュニティで作りやすい環境だが、大人数のコミュニティはあらかじめ作られていた方がよい。何歳になっても大人数のコミュニティは慣れるのが大変だが、大人になったときの感じ方が違うので子供の時に経験することと大人の時に経験することでは自分の得意不得意を感じることも含めて大切だと思う
将来的には必要	校区が違っていても行きたい小学校に通学できるようにしてほしい。
将来的には必要	私は小規模校出身です。小学校時代は1人1人に目が行き届き、きめ細かな指導を受けたように思います。先生も1人1人の生徒の性格など理解しやすく、指導しやすかったのではないかでしょうか？ でも、切磋琢磨するという機会が減ってしまうのはあり得るかもしれません。が、のびのびと子供が学習に臨める方がいいかなーと思います。 係など親の負担が増えるのはちょっと嫌ですが。
将来的には必要	一つの学校を運営する為には多額の施設管理費用や職員人件費等がかかっていると思われる。
将来的には必要	近くの小学校に歩いて通うということが、理想だと思いますが、ひとクラスの人数が少ないことは、いろんな活動に制約が生じることもあると思います。勉強面では少人数の方が、良い面も多いように思います。 周辺自治体の事例等を参考にされながら、十分な議論が尽くされることをお願いします。
将来的には必要	大口小学校区への一極集中に驚いた。

検討の可否	内容
将来的には必要	学校数は減らし、生徒数をなるべく均等に近い形で分散できたら理想だと思います。1校だけに入学希望者が殺到しないような形になればありがたいです。
将来的には必要	そもそも日本の義務教育が遅れすぎているので伊佐市だけでどうにかできる問題では無いのですが、発達障害や加配が必要児童・生徒はもちろん、それ以外の一人一人の能力を伸ばす事に重きを置いた方が良いと感じています。 伊佐市は子どもが少ないので、強みになる事は何かを考えて学校運営をして欲しいと思う。 また、とても難しい事だとは思いますが教職員の負担はどんどん減らしていくといつです。教員不足である事は承知ですが、20人以上のクラスの担任は授業に加えて、加配も必要な児童がいる場合負担が大きすぎると思います。
将来的には必要	大体の学校が今後児童数が減少していく事が推移として表されて分かりやすかった。 減少していく上で、少ないからこそ様々な学校活動や地域活動??交流活動等を増やしていき色々な経験が出来て行けたらいいのではと思います。
将来的には必要	その子にあった教育を密に取って頂きたい。また保護者同士も交流のある教育環境があれば、情報共有ができるため助かります。
将来的には必要	もっと子育て支援に力を入れてほしい。 子育て支援が充実すれば他市、他県から流れてくる可能性もあると思う。他にお手本となる事をやってる市や県もあるので、財源の許す限りまねをする等やってほしい。人数の多い年配者等をないがしろにしろとは言わないが、もっとやりようはあるのではないかと思います。
将来的には必要	もっと多いと思っていたので児童数の少なさに驚いた。最近、伊佐に引っ越しして来たので…。さつま町の盈進小学校に入学させたかったのでちょっと残念。どこの小学校も人数が少ないので合併したらしいと思う。
将来的には必要	現在住んでいる家の学区が『人数が多い小学校』の方は、『人数が少ない小学校』へ進学する選択もできるといいと思います 住居の問題で通わせたい学区（人数が少ない小学校）の側にアパートや賃貸の住宅がないことから、人数の多い小学校の学区に住むことしか選択できないので、居住地の学区に限らず小学校を選ぶことが出来たらいいと思います 現在菱刈小区域に住んでいますが、実家が近いことから曾木地区の保育園に通わせていて、そのまま曾木小学校へ進学を希望しています 最近は実家の住所の学区に通わせることが叶わない場合もあると聞くので、希望が叶いやすい環境になればと思っています ご検討よろしくお願いします
将来的には必要	児童数の減少による学校の統合や合併で自宅からの通学時間が長くなるのは、安全性や子どもの危機管理能力を考えるととても不安。 統合や合併をするなら、敷地内に学童や学校が終わってから安心して預けられる場所等を設置してほしい。(ひとりで自宅に居させることや、鍵を持たせることは防犯面で心配なので難しい)。 児童数が少なすぎて学年統合し担任が掛け持ちも、どうかと思う。
将来的には必要	少子化に伴って児童数が少くなり、合併等は仕方がない事だと思います。 ですが、地域の小学校で学ぶ重要性もあると思います。(地域の事を知るなど)それが、合併等で無くならないで欲しいです。 合併する事で歩いて小学校に通うのが難しい児童(送迎など難しい児童)にはバスなど救済措置はあるのか? また、学校が終わってから歩いて帰れないなどの場合はそこの送迎や保護者が迎えに来れる時間までの過ごす場所(学童など)の拡充をして欲しいです。
将来的には必要	いずれは合併が必要になるとは思うが、できれば歩いて登校できるほうがいい
必要はない	集団生活をする上で他人との協調性やコミュニケーションの取り方を学ぶと思います。それは社会に出てから必要な能力であり、小集団なり大集団なり学べるものではありますが、学年に1人だけであると、同年齢と学ぶ機会は失われます。異年齢児はいても、いずれ卒業したり、下が入ってこないと叶わなくなります。そうなる前に一桁予想の小学校は見直すこともありなのではないでしょうか。大人との関わりも大事ですが、子ども同士でしか学べないこともあると思います。
分からない	進学、就職する時に、小さなコミュニティから出て大人数を相手に対応出来るかが心配です。
分からない	子供を産んでも育てやすい地域になればいいなあと思います。子供が少ないので保護者も先生方も子供達ともっと関わりを深めて勉強はもちろん、心の成長も見守っていきたいなと思います。